

Cisco TelePresence 1300

Cisco TelePresence™ は、臨場感あふれたフェイスツーフェイスの体験をネットワーク経由で実現します。このソリューションにより、これまでにない形のコラボレーションが可能になります。

テクノロジーと設計が強力に組み合わせられた Cisco TelePresence を利用すると、遠隔地の参加者が自分と同じ会議室にいるように感じられます。Cisco TelePresence は、生産性の大幅な向上とビジネスを変革させる可能性を秘めています。多くの組織がすでにこのソリューションを採用しており、コスト管理、意思決定時間の短縮、顧客との親密度の向上、少ないリソースの有効活用、製品を市場に投入するまでの時間の短縮といった効果を上げています。

Cisco TelePresence は、次のようにさまざまなエンドポイントモデルで構成されており、多様な会議のニーズに応えることができます。

- Cisco TelePresence System 500 は、1～2名で使用するように設計されています。Cisco TelePresence の仮想対面体験をそのまま個人オフィスに導入できます。
- Cisco TelePresence System 1000 は、少人数のグループ会議や一对一の会話に適しています。
- Cisco TelePresence System 1300 シリーズは、多目的会議室でのグループ会議向けに設計されています。
- Cisco TelePresence System 3000 は、ビジネス会議に適しており、1室あたりの参加者は最大6名です。
- Cisco TelePresence System 3200 は、大規模なグループ会議に適しており、1室あたりの参加者は最大18名です。

Cisco TelePresence ソリューションを使用することで、これらのエンドポイントで会議を簡単にスケジュールしたり、設定したりすることができます。スケラブルで遅延のないマルチポイント会議や安全な企業間コミュニケーションを実現できます。また、多くの魅力的なコラボレーションアプリケーションが利用できるため、さまざまな種類の会議や高解像度 (HD) でのブロードキャスト、産業用アプリケーションを拡張することができます。このデータシートでは、Cisco TelePresence System 1300-65 について説明します (図 1)。

図 1 Cisco TelePresence System 1300-65



製品の概要

Cisco TelePresence は、実物のような超高解像度ビデオ（1080p）と高品質音声、および特別に設計された環境と対話のための要素を組み合わせたもので、遠隔地にいる参加者との会議で「直接対面」しているような感覚を作り出します。このソリューションはシンプルで使いやすいので、参加者は自然で効果的なコミュニケーションができます。

Cisco TelePresence System 1300 シリーズを使用すると、Cisco TelePresence の空間を共有しているような仮想体験を多目的会議室で実現できます。無駄のないデザインで 1 つの画面と 3 台のカメラを備えたこのシステムは、最大 6 人までサポートでき、専用の電話会議室は必要ありません。音声起動の自動切り替えにより、すべてのチームメンバーが Cisco TelePresence 会議に簡単に参加でき、等身大で表示されます。

Cisco TelePresence System 1300 シリーズを利用すると、企業のあらゆる場所に Cisco TelePresence を導入することができます。どのような会議室でも、Cisco TelePresence での会議、対面式の会議、さらには音声会議に利用できます。Cisco TelePresence の他の製品と同様に、Cisco TelePresence System 1300 シリーズも優れたビデオ、音声、環境的機能を備えており、直接顔を合わせているような臨場感を味わうことができます。

用途

Cisco TelePresence System 1300 シリーズはマルチポイントのグループ会議に適しています。たとえば、事業活動報告会議、進捗報告会議、顧客への四半期ごとのプレゼンテーションなどです。また、設計のレビュー、地理的に分散したチームの一般的な作業打ち合わせなど、複数の拠点間でのコラボレーションにおけるグループ会議もサポートします。

Cisco TelePresence System 1300 シリーズの非常に鮮明なビデオ画像によってあらゆる表情が伝わり、CD 品質の音声によって言葉の一つ一つがはっきりと聞こえます。使いやすさを特徴とし、さまざまな機能が一体化および最適化されているので、ボタンを押すだけで会議のスケジュールリングや開始が可能です。アベイラビリティの高いシスコネットワークとの統合によって、信頼性、QoS（Quality of Service）、セキュリティが確保されているため、社内と社外のどちらの会議にも安心して利用できます。

さらに、Cisco TelePresence System 1300 シリーズは他の Cisco TelePresence 製品と透過的に統合できるため、次のように高品質の Cisco TelePresence 環境を実現できます。

- 解像度 720p と 1080p の高画質ビデオを提供します。
- 特別に設計された高解像度カメラによって高品質の鮮明な画像が提供されるので視線を合わせることができ、ユーザの操作は不要です。
- 全二重方式と、CD 品質の音声で、自然に会話することができます。気になる遅延も発生しません。音声が明瞭なので、参加者はリラックスして落ち着いた声で話すことができます。発言者の声は、まるで同じ部屋にいるかのように聞こえます。マイクの電子回路は、モバイル デバイスや携帯電話からの干渉を除去するように設計されています。
- 照明と音響の品質を最適にするように、特別に設計された装置一式です。
- Cisco TelePresence エンドポイントの任意の組み合わせによる、最大 48 か所のマルチポイント会議がサポートされます。
- 他の Cisco TelePresence エンドポイントと同様に、企業用の一般的な予定表プログラムと統合すると、ボタンを押すだけで簡単に会議の開始と管理ができます。

- アドホック会議がサポートされており、Cisco TelePresence エンドポイントが設置されていればどこでも、電話をかけるだけで即座に会議を開始できます。
- ネットワークとの統合によって信頼性、ハイアベイラビリティ、セキュリティ、QoS が確保され、いつでも快適な会議が可能です。ビデオと通話シグナリングの両方が暗号化されるため、通信のセキュリティが強化されます。
- 標準ベースの標準解像度および高解像度ビデオ エンドポイントとの任意間 (any-to-any) 相互運用、Cisco WebEx™ 会議アプリケーションや Cisco® Digital Media System などの技術とのコラボレーションが可能です。
- 企業間および社内で安全で信頼性の高い会議が可能です、Cisco TelePresence を導入した公共の会議施設をつなぐことも可能です。

Cisco TelePresence の設計が持つ利点に加えて、Cisco TelePresence System 1300-65 は表 1 に示す革新的な機能と利点を備えています。

表 1. Cisco TelePresence System 1300-65 の機能と利点

項目	説明	利点
多目的会議室向けの設計	<ul style="list-style-type: none"> • 壁面に設置可能な無駄のない工業デザイン、内蔵型照明 • 複数のカメラと 1 つのディスプレイを使用した、被写界深度の深い映像 • 既存の会議テーブルと椅子を使用 	<ul style="list-style-type: none"> • システムを使用しないときには、本来の多目的会議室として機能します。会議室の数が限られているオフィスに適しています。 • 会議室の選択と構成を柔軟に行えます。ほとんどの中規模の会議室でシステムを使用できます。 • 部屋のレイアウト変更のコストを抑制できるので、企業のあらゆる場所にシステムを導入できます。
6 人での Cisco TelePresence 会議に最適	<ul style="list-style-type: none"> • 65 インチの画面とカメラ 3 台、マイク、スピーカーを備えた無駄のないデザイン • 音声起動の自動切り替えにより、発言者を選択 	<ul style="list-style-type: none"> • 世界規模や地域規模のプロジェクトチームの出張を削減し、生産的なコミュニケーションを促進します。 • 自動的なセグメント切り替えにより参加が簡単なので、参加者はテクノロジーに気を取られることなくビジネス ニーズに集中できます。
優れた音声/ビデオ品質	<ul style="list-style-type: none"> • ポイントツーポイント会議とマルチポイント会議のどちらの場合も、リモート エンドポイントとして臨場感を演出 • 他の Cisco TelePresence エンドポイント製品と同じ品質の仮想会議室体験を実現 • 音声会議をサポート 	<ul style="list-style-type: none"> • 妥当なコストで、テレプレゼンスを利用できる範囲を組織内で拡張できます。 • リモート エンドの参加者には Cisco TelePresence System 1300 のユーザが等身大で見えます。
補助グラフィックディスプレイの接続*	<ul style="list-style-type: none"> • データまたはグラフィック コンテンツを別の補助ディスプレイに表示、または Presentation-In-Picture (PIP) モードで表示 • Cisco TelePresence 会議に使用していないときはプレゼンテーション モニタとして利用可能 	<ul style="list-style-type: none"> • さまざまな方法でデータを表示できます。スペースの制約がある場合は PIP モードが適しています。 • Cisco TelePresence 会議に使用していないときもシステムを生産性向上ツールとして利用できます。

* シスコではグラフィック ディスプレイおよび取り付け用部品は用意していません。データ ディスプレイのオプションについては、Cisco TelePresence パートナーにお問い合わせください。

表 2 に、Cisco TelePresence ポートフォリオ全体の機能と利点を示します。

表 2. Cisco TelePresence ポートフォリオの機能と利点

項目	説明
短縮ダイヤルおよびディレクトリ	便利な短縮ダイヤルを最大 40 件登録できます。また、Cisco Unified Communications Manager の総合ディレクトリ サービスと統合すれば、数千件のディレクトリ エントリの検索が可能です。
設定	Web ベースのインターフェイスを使用して、管理者は安全にシステムにログインし、Cisco TelePresence システムの構成に変更を加えることができます。
スケジューリング サービス	電子メールによる予定表機能や Web 対応アプリケーションからのスケジューリング サービスを利用できます。この機能を使用するには、Cisco TelePresence Manager サーバをインストールして、予定表や電子メールのアプリケーションと連携するように設定する必要があります。
ミュートと保留	ミュートと保留機能がサポートされています。これらの機能は、Cisco IP Phone から制御します。
ギガビット イーサネット スイッチ	シスコ ギガビット イーサネット スイッチが内蔵されているため、10/100/1000 BASE-T イーサネット ネットワークに RJ-45 インターフェイスを介して直接接続できます。1 つの LAN 接続で、Cisco TelePresence システムと、同じ場所にある Cisco Unified IP Phone 7975G およびイーサネット接続の PC の両方を接続できます。PC 用と Cisco IP Phone 用にそれぞれ別の VLAN (802.1Q) を指定すれば、音声およびデータトラフィックのセキュリティと信頼性が向上します。
音量調節	電話機の便利な音量調節ボタンを使用して簡単に調節できます。
音声ミュート	Cisco IP Phone のミュート機能がオンになったことを示すインジケータが画面上に表示されます。
ビデオ ミュート	保留/再開ボタンを押すとビデオと音声のミュート機能が切り替わりません。内密の話をするとき Cisco TelePresence システムを保留状態にすることができます。
Cisco TelePresence Auto Collaborate	Cisco TelePresence Auto Collaborate を利用すれば、ノート PC などのデバイスを接続するだけで、同じ情報や物体をすぐに全会議室にいる人が見て共有することができます。
Cisco TelePresence フレーム レート Auto Collaborate	オプションで、データ チャネル専用のプレゼンテーション コーデックが用意されており、Auto Collaborate データ チャネル上でフルモーション (30 fps) グラフィックやマルチメディア コンテンツを利用できます。
ダイヤリング ボタン	手動でもアドレス帳からでもダイヤルできる便利なボタンです。
マルチポイントのサポート	Cisco TelePresence Multipoint Switch を使用すれば、Cisco TelePresence システムをマルチポイント会議に参加させることができます。
暗号化	Cisco TelePresence はあらゆるメディアおよびシグナリング暗号化をサポートし、最大 48 セグメントの Cisco TelePresence 会議において認識できる遅延は発生しません。また、保護なし、ベスト エフォートの保護、および常時保護の中から会議の暗号化のレベルを指定することができます。会議の暗号化ステータスは会議の開始時、またはステータスの変更時に画面に表示されるほか、常に電話上に表示されます。
Power over Ethernet (PoE) による高解像度カメラと Cisco Unified IP Phone 7975G への電力供給	シスコの高解像度カメラと Cisco Unified IP Phone 7975G は、Cisco TelePresence コーデックに組み込まれた Cisco IEEE 803.3af PoE スイッチから LAN 経由で電力供給を受けます。
相互運用性のサポート	Cisco TelePresence システムは、標準ベースの H.323 ビデオ会議システムと相互運用できます。
呼び出し音	システム動作とユーザ通知用に、標準的な呼び出し音と話中音がサポートされています。
Americans with Disabilities Act (ADA) 機能	Cisco Unified IP Phone 7970G および 7975G モデルのダイヤルパッドは ADA 準拠です。
U.S. Section 508 の機能	Cisco Unified IP Phone 7975G のダイヤルパッドは、U.S. Section 508 のガイドラインに適合しています。触感でホーム キーを識別できるように、ダイヤルパッドの 5 のキーに突起が付いています。アクセシビリティに関するその他の機能については、次の URL から U.S. 508 VPAT (Voluntary Product Accessibility Template) を入手してください。 http://www.cisco.com/go/accessibility (英語)

項目	説明
シグナリング プロトコルのサポート	Session Initiation Protocol (SIP) が Cisco Unified Communications Manager でサポートされます。
音声コーデックのサポート	G.711 および Advanced Audio Coding with Low Delay (AAC-LD) の音声圧縮コーデックが利用できます。
設定オプション	IP アドレスを静的に割り当てることも、Cisco TelePresence 管理者用 Web インターフェイスで設定することもできます。
システム照明	照明装置がソリューションの一部として組み込まれています。顔に影を作らず、自然なビデオ映りになります。強いスタジオ照明やメイクアップは不要です。照明は、Cisco TelePresence 会議が開始すると点灯します。
システム照明の制御	Cisco TelePresence システムの一部である照明装置は、Cisco TelePresence 会議または通常就業時間に連動してオンとオフを切り替えることができます。この機能によって電力消費が削減され、全体的に「より環境に配慮した」ソリューションになります。

製品の仕様

表 3 ~ 5 に、Cisco TelePresence 1300-65 の仕様を、表 6 に定格温度を示します。

表 3. 製品仕様

仕様	説明
製品の互換性	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco TelePresence System 500 (Cisco TelePresence System ソフトウェア 1.5 以降) • Cisco TelePresence System 1000 (Cisco TelePresence System ソフトウェア バージョン 1.5 以降) • Cisco TelePresence System 3000 (Cisco TelePresence System ソフトウェア バージョン 1.5 以降) • Cisco TelePresence System 3200 (Cisco TelePresence System ソフトウェア バージョン 1.5 以降) • Cisco Unified Communications Manager 6.1 または 7.0 以降 • Cisco TelePresence Multipoint Switch 1.5 以降 • Cisco TelePresence Manager 1.5 以降
ソフトウェアの互換性	Cisco TelePresence System ソフトウェア バージョン 1.5 以降
プロトコル	Cisco Discovery Protocol、SIP、IP、Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP)、Secure Shell (SSH) プロトコル、802.1p/q、Real-Time Transport Protocol (RTP)
接続性	イーサネット (LAN × 1、RJ-45 接続、100/1000 Mbps)、内蔵 4 ポートイーサネット スイッチ、高解像度ビデオ コネクタ
プログラミング インターフェイス	Web ベースのユーザ インターフェイス (IP アドレスを静的に割り当てることも Cisco TelePresence 管理者用 Web インターフェイスで設定することも可能)
物理寸法 (高さ × 幅 × 奥行)	壁面取り付け : 196.7 × 203.2 × 19.1 cm (77.4 × 80 × 7.5 インチ)
重量	約 272 kg (600 ポンド、貨物重量)
電源	Cisco TelePresence システム (標準) : 228 W (12.8 A @ 120 V) 以上

表 4. ビデオおよび音声の仕様

仕様	説明
消費帯域幅	IP QoS 接続の推奨値 : 3 ~ 4 Mbps (1080p) または 1 ~ 3 Mbps (720p)。注 : Cisco TelePresence System 1300 の帯域幅推奨値は Cisco TelePresence System 1000 と同一です。
ビデオ規格	H.264
ビデオ フレーム レート	30 フレーム/秒 (H.264 を使用)

仕様	説明
データ/グラフィック フレーム レート	<ul style="list-style-type: none"> グラフィック共有 : 5 フレーム/秒 (標準構成) オプションのグラフィック共有 : 30 フレーム/秒 (専用のプレゼンテーションコーデックを使用)
ネイティブ National Television Standards Committee (NTSC)	720p および 1080p
解像度	1920 × 1080 ネイティブ
音声規格	G.711 および AAC-LD (22 kHz)
音声機能	シスコ ダイナミック エコー キャンセレーション
Cisco TelePresence 高解像度カメラ	<ul style="list-style-type: none"> Complementary Metal Oxide Semiconductor (CMOS) 2/3 インチ センサー C マウント レンズ 1080p 30 fps 最小照度 300 ルクス 手動フォーカス
H.264 相互運用性	Cisco Unified Videoconferencing 3500 シリーズ プラットフォームで、Common Intermediate Format (CIF) および G.711 を使用

表 5. その他の仕様

仕様	説明
ファームウェア アップグレード	Cisco Unified Communications Manager からダウンロード可能
ビデオ ネットワーク機能	ビデオ伝送のパケット損失をインテリジェントに回復
ネットワーク インターフェイス	<ul style="list-style-type: none"> LAN/イーサネット (RJ-45)、100/1000 Mbps × 1 4 ポート イーサネット スイッチを内蔵、コーデック上に PoE (IEEE 802.3af) ポート 2 個

表 6. 定格温度

温度	説明
オフィスの動作温度	5 ~ 35°C (41 ~ 95°F)
相対湿度	10 ~ 95% (結露しないこと)
適合規格	<ul style="list-style-type: none"> CE マーキング UL/CSA/IEC/EN/AS/NZS/60950 47CFR Part 15 Class A CISPR22/EN55022 Class A

発注情報

シスコ製品の購入方法については、「[購入案内](#)」および表 7 を参照してください。

表 7. 発注情報

製品名	製品番号
Cisco TelePresence System 1300-65	CTS-1300-65
Cisco TelePresence System 1300-65 の発注オプション	
電源コード	Cisco TelePresence システムを設置する国の電源コンセントに差し込める電源コードを選択します。
プレゼンテーション コーデック	CTS-HFR-COLLAB 高フレーム レートの Auto Collaboration を利用できるように専用のプレゼンテーション コーデックを追加するための有料オプションです。

シスコのサービス

革新的な Cisco TelePresence 環境を実現するには、シスコが認定パートナーと共に提供する統合されたライフサイクル サービスが不可欠です。このサービスは複数の拠点を持つ組織を対象とした設計で、Cisco TelePresence の適正な導入を促進し、品質および信頼性に優れた、相手と直接顔を合わせているような Cisco TelePresence 環境の実現を支援します。

初期の準備、計画、および設計のサービスを通してお客様のネットワークと組織の準備を整えることで、常に一定の品質レベルで Cisco TelePresence 環境を実現できるようになります。また、IT スタッフの負担を減らしてテレプレゼンスの継続的な利用を可能にする運用サービスも提供しています。重要な Day 2 メンテナンス サポート、リモート監視と管理、およびリモート アシスタンス サービスによって、アベイラビリティを高めます。Cisco TelePresence をご利用いただくためのこれらのサービスには、シスコの実績あるライフサイクル サービス アプローチが採用されています。詳細については、<http://www.cisco.com/jp/go/telepresenceservices/> を参照してください。

関連情報

Cisco TelePresence System 1300 シリーズの詳細については、<http://www.cisco.com/jp/go/telepresence/> をご覧ください。

注：製品仕様は概算値であり、予告なく変更される場合があります。

©2009 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社
〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー
<http://www.cisco.com/jp>
お問い合わせ先: シスコ コンタクトセンター
0120-092-255 (フリーコール、携帯・PHS 含む)
電話受付時間: 平日 10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00
<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

お問い合わせ先